

SDGs(持続可能な開発目標)とは、国連で日本を含む全世界が同意した2030年までに達成すべき目標です。

ひろかわSDGsプロジェクト

SDGs: 目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

達成のために広川で頑張っている人 → 全広川町民

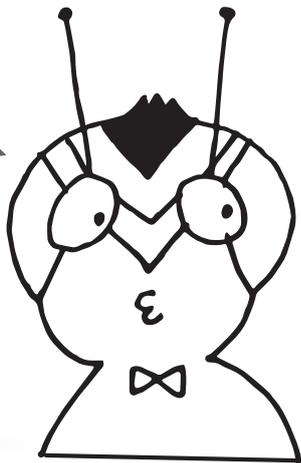
1年半以上にわたる連載「ひろかわSDGsプロジェクト」はいかがでしたか？

最初は「国連？ 自分には関係ないでしょ？」と感じた人もいたかもしれません。しかし振り返ってみると、想像以上に身近で頑張っている人がいて、自分にもできることがあると思ったのではないのでしょうか。

先月号までに紹介してきた16の目標ですが、それぞれがバラバラのようでつながっています。そして、一つの国や組織、あるいは個人が取り組んでも解決することはできません。解決するためには「みんなで」一丸となって取り組む必要があるのです。目標が達成できるかは私たちの行動にかかっています。



今回この連載はおしまいです。これを読んだ皆さんが社会課題に対して他人事で終わってしまうのであれば、私たちの社会が持続不可能であることは明らかでしょう。
一人ひとりが課題と向き合い、行動を変えることができたならば、小さな行動であっても大きな変化が期待できます。社会課題解決の主人公は「わたし」なのです。
子どもや孫、さらにもっと先の世代に持続可能な社会を残すため、自分にできる一歩を踏み出しましょう。長い間、ご覧いただきありがとうございました。



SDGsマン

より深く知るために、次のようなキーワードで検索してみましょう。

マルチステークホルダー SDGs 自分にできること



1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

そろばんで全国大会出場 川瀬区 馬場雛乃さん

川瀬区の馬場雛乃さん（久留米商業高等学校3年生）が、「第66回国高等学校珠算・電卓競技大会（珠算の部）」（8月1日・宮城県）に出場します。

地元の公民館で行われているそろばん教室に、9歳から通い始めた馬場さん。全国大会への出場は昨年引き続き2回目です。「去年は種目別競技で3位だったので、今年は優勝目指して頑張ります」と大会への意気込みを語りました。

なお、馬場さんには青少年健全育成を目的に寄与される「広川町青少年人材育成補助金」が贈られました。



新チームでメダルを手に 広川イーグルス

6月2日・8日・9日に行われた「第9回八女市長旗争奪少年野球大会」で、広川イーグルスが準優勝しました。県南を中心に50チームが参加した中、接戦を勝ち進み、見事メダルを手に入れることができました。

6月29日に行われた「柴田春雄杯第15回福岡県学童低学年軟式野球北筑後大会」では4年生以下が準優勝となり、県大会出場を決めました。

●いつでも体験にお越しください
（火）金（土）、部員20人（うち女子5人）が広川球場バックネット側でお待ちしています。

問 保護者代表 野中
090・1086・6601

災害への対処を確認 災害情報伝達訓練



広川町役場で6月29日（土）、広川町と八女消防署広川分署、広川町消防団が災害情報伝達訓練を行いました。

町内で大規模な豪雨災害が発生したという想定のもと、各機関が災害情報を伝達・共有し、災害にどのように対処するのかを確認しました。

同和問題などを考える 街頭啓発活動



7月1日（月）町内3か所のスーパードで街頭啓発活動が行われました。これは7月の「同和問題啓発強調月間」と「社会を明るくする運動強調月間」に合わせて行われたもの。町長や保護司らが、店を訪れた人々へパンフレットなどを手渡しました。

おいしいキュウリを届ける (福)新世会サングリーン



旬の夏野菜、キュウリの収穫が(福)新世会サングリーンで行われています。サングリーンは久留米原種育成会などで構成される「スズメ」グループの一つ。障がい者の自立支援など、町内で福祉事業を行っています。施設内では主にキュウリの栽培・収穫・販売を行い、おいしいキュウリを町内の家庭へお届けしています。

6月29日(土)には広川町産業展示会館で「経営計画発表会」を行い、スズメグループ各社の目標を確約し、一体感を高めました。

宝くじの助成で公民館備品を整備

長延行政区



長延行政区が「コミュニティ助成事業」を活用し、テーブルや椅子、エアコンなどの備品を整備しました。コミュニティ助成事業とは、(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業の一つ。宝くじの受託事業収入を財源として、地域が自主的に行うコミュニティ活動に必要な設備などの整備に対して助成を行っています。

長延行政区ではさまざまな団体が連携し、地元の里山を活用した活動や敬老会、秋祭りなど、地域の親睦を深める取り組みが行われています。近年は活動拠点である公民館の備品の老朽化などで活動に支障をきたしていたこともあり、今回の整備でさらにコミュニティ活動が活性化することが期待されます。



減塩食品の進化を実感

食進会が体験コーナーを設置



広川町産業展示会館で6月21日(金)食生活改善推進会が減塩食品の体験コーナーを設けました。

集団健診の実施日であるこの日、食進会は健診を受けに来た人々へ減塩ソースなど約70食を提供。試食した9割以上の人は「普通のソースと変わらないうまい」「おいしい」「買ってみよう」などと評価し、減塩食品がおいしく進化していることを実感していました。

税金の意義・役割を考える

広川中で租税教室



広川中学校で6月24日(月)、3年生を対象に租税教室が行われました。生徒は町の予算や、税金がない社会を描いたDVDを見ながら、税金の意義・役割について学習。なぜ税金が必要なのか、私たちの生活との関わり、具体的な使い道、その使い道はどこで誰によって決まるのかなどを学び、社会に興味、関心を持つきっかけとなりました。